

第9回国土交通省非常災害対策本部会議

平成30年7月30日
10:40~
国土交通省3号館4階幹部会議室

議事次第

1. 大臣発言

大臣

2. 気象の状況について

気象庁

3. 政府・国交省の対応状況

水管理・国土保全局

4. 所管施設等の被害状況、対応状況の報告

各局

5. その他



台風第 12 号による被害等について

1 気象概要

- ・台風第 12 号は今日 30 日 3 時現在、枕崎市の北西約 80km にあって南西に進んでいる。
- ・西日本の太平洋側や東海地方を中心に、暖かく湿った空気が流れ込み非常に激しい雨の降るところがある見込み。台風の動きが遅くなるため、明日 31 日にかけて同じところで雨が続き大雨となるおそれ
- ・台風が通過した後も引き続き、土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水・氾濫等に警戒が必要

2 出水の状況

- ・台風による新たな氾濫の発生なし
- ・現時点で氾濫危険水位を超過している河川なし
※府県管理の 5 河川で氾濫危険水位を一時超過
(淀川水系木津川(三重県)、大和川水系大和川(奈良県)等)

3 被害等

(1) 河川

- ・平成 30 年 7 月豪雨での被災箇所被害拡大等の情報なし
- ・その他、国管理河川、都道府県管理河川の施設被害は調査中

(2) 土砂災害

- ・1 県で 1 件の土砂災害が発生※千葉県(人的被害・家屋被害なし)

(3) 道路

- ・高速道路、直轄国道：通行止めなし

(4) 鉄道

- ・運転休止区間なし

(5) 航空(30 日 0:00 現在)

- ・7 月 30 日の欠航便は各社ともなし

(6) フェリー等

- ・74 事業者 88 航路で運休又は一部運休

(7) 自動車

- ・高速バス 26 事業者 64 路線で運休又は一部運休
- ・自動車道 1 路線で全線通行止め

4. 被災自治体等の支援

○TEC-FORCE(テックフォース):のべ 48 人派遣(7/27-)

- ・リエゾン:のべ 32 人(1 府 5 県 9 市町)※三重県、静岡県、伊豆の国市、沼津市、三島市、伊豆市、函南町、京都府、舞鶴市、福知山市、綾部市、兵庫県、奈良県、和歌山県、愛媛県伊予市

- ・応急対策、二次災害防止等:のべ 16 人

○排水ポンプ車等の災害対策用資機材:のべ 55 台派遣(7/27-)

平成30年7月豪雨に対する国土交通省の主な対応状況

1. 被災者の生活支援

(1)被災者の住まい等の確保

- ・公営住宅等の空室提供:全国42都道府県で536戸入居決定(7/30 8:00時点)
- ・民間賃貸住宅を活用した借上げ型仮設住宅(みなし仮設)の提供:1,724戸入居決定(7/30 8:00時点)
- ・応急仮設住宅の建設:2県4市で計210戸の建設に着手
- ・旅館・ホテルにおいて、約1,000人分の部屋が受け入れ可能。7/26までに141人が避難所から移動
- ・応急仮設・宿泊関係4団体に対し、宿泊施設における被災者の受入を協力依頼(7/8)

(2)土砂除去支援

- ・(一社)日本建設機械レンタル協会や建設機械メーカーの協力により、小型油圧ショベルを59台派遣(7/13-)
- ・岡山県倉敷市、広島県呉市へ土のう袋約39万袋を提供(7/16-)
- ・市町村が行う宅地内に堆積した土砂等の排除について「堆積土砂排除事業」により財政支援(5県11市町において実施中又は実施予定)(7/9-)

(3)給水・路面清掃等支援

- ・愛媛県(7/12-)、広島県(7/15-)、岡山県(7/16-)に散水車・路面清掃車等を35台派遣

2. 河川や土砂災害の復旧・二次災害防止

(1)河川

■国管理河川

- ・浸水被害:22水系 47河川、施設等被害:34水系 53河川
- ・国が管理する河川で被災した堤防等の河川管理施設については、大規模な被災を受けた岡山県の高梁川水系小田川などの10箇所、16日までに緊急的な復旧を完了。その他の被災箇所についても、25日までに全135箇所での応急的な対応を完了

■道府県管理河川

- ・浸水被害:68水系 223河川、施設等被害:109水系 399河川
- ・道府県が管理する河川で被災した堤防等の河川管理施設については、大規模な被災を受けた岡山県の高梁川水系小田川など34箇所では、28日までに応急的な対応を完了

(2)土砂災害

- ・1道2府28県で1,464件の土砂災害が発生
- ・土砂災害の発生状況調査等をTEC-FORCEが広島県、岡山県、愛媛県で実施(7/8~20)
- ・国総研・土研の土砂災害専門家(TEC-FORCE 高度技術調査班)による調査及び二次災害防止等のための技術的助言を実施(7/10~14)

- ・土石流が集中的に発生した地域等の自治体に対して、今後の警戒避難について助言を実施(7/14、15、17)
- ・土砂災害専門家等による土砂災害アドバイザーチームが広島県庁に駐在し、警戒避難や応急復旧対策についてきめ細やかに助言(7/19～25)
- ・二次災害防止のため 4 箇所では応急工事を実施(7/13-)

3. 交通

(1) 広島-呉間の交通対策

- ・被災地への物資輸送の円滑化のため、整備局や県、警察等で構成する広島県災害時渋滞対策協議会を設置し、ソフト・ハードの渋滞対策を検討(7/12-)
- ・広島呉道路の通行止めに対し、山陽道・東広島呉道経由の広域迂回ルートへの誘導をしやすいするため、山陽道 高屋 JCT・IC と広島 IC-西条 IC 間について、高速道路料金の半額措置を実施(7/17 0:00-)
- ・広島呉道路の一部(天応西 IC-呉 IC、坂北 IC-坂南 IC)において、バス(広島・呉間)の通行を開始(7/17-)
- ・JR 西日本 呉線の代替輸送について、引き続き振替輸送のフェリーを増便(1 便、平日のみ)するほか、朝夕の通勤時間帯のバス運行(約 32 便)、東広島-広島間の新幹線増発(上下各 1 便)による呉線からの振替輸送を実施(7/17-)
- ・「広島市・呉市周辺通れるマップ」を公表(7/10-)

(2) 高速道路関係

【復旧状況・見込み】

- ・被災による通行止めは、現時点で 2 路線 2 区間
※E10 東九州自動車道(椎田南 IC-豊前 IC)、E31 広島呉道路(坂北 IC-呉 IC)

(3) 鉄道関係

【復旧状況・見込み】

- ・5事業者8路線の一部区間において1ヶ月以内に運行再開を予定
※JR 東海:高山線/JR 西日本:山陽線、伯備線、呉線、津山線/JR 四国:予讃線/長良川鉄道:越美南線/錦川鉄道:錦川清流線(いずれも一部区間)

4. 被災自治体等の支援

(1) TEC-FORCE(テックフォース)等

- ・TEC-FORCE 総派遣数:のべ 9,173 人派遣(7/3-)、7/30 は 116 人で活動(※JETT、リエゾンを含む)
- ・排水ポンプ車や照明車、散水車、路面清掃車等の災害対策用資機材:のべ 2,445 台派遣(7/3-)

「平成30年7月豪雨」及び「台風第12号」

～今後の気象の見通し～

1 気象庁

平成30年7月30日06時00分

今後の気象の見通し

<気象概況> 台風第12号は、明日31日にかけて、屋久島付近で動きが遅くなる見込み。台風の動きが遅いため、九州や四国地方を中心に、同じ所で雨が続き、大雨（明日31日朝までに予想される24時間雨量（多い所）、四国・九州200から250ミリ）となるおそれ。被災地を含む西日本、東日本では、大気の状態が不安定となり、局地的に雷雨となる所がある見込み。

西日本と東日本は8月5日頃にかけて、再び厳しい暑さが戻る見込み。

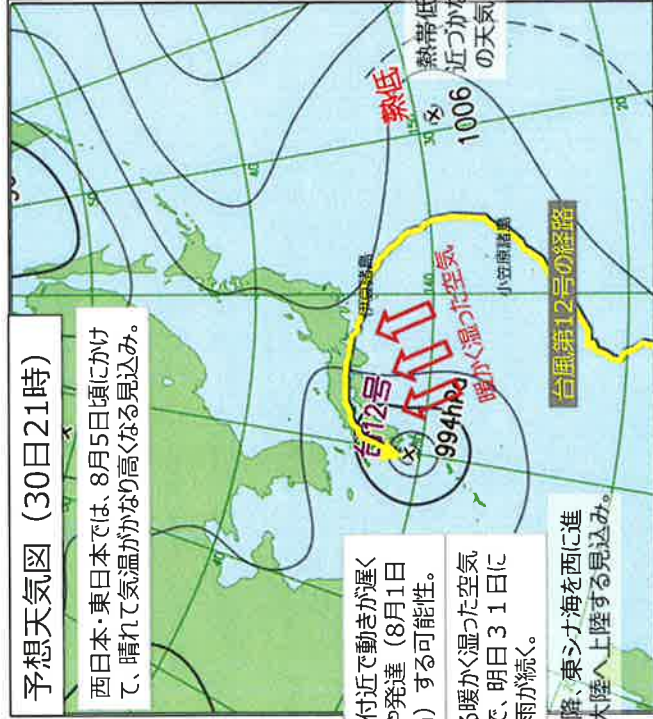
<警戒事項> 土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒。落雷や竜巻などの激しい突風、急な強い雨など、天気の急変に注意。

屋外はもとより、屋内でも、熱中症に対して、できる限りの対策が必要。

■ 解説図

予想天気図（30日21時）

西日本・東日本では、8月5日頃にかけて、晴れて気温がかなり高くなる見込み。



台風は、屋久島付近で動きが遅くなる見込み。やや発達（8月1日未明、985hPa）する可能性。

台風の東側にある暖かく湿った空気が流れ込む影響で、明日31日にかけて、同じ所で雨が続く。

台風は、31日以降、東シナ海を西に進み、3日頃、中国大陸へ上陸する見込み。

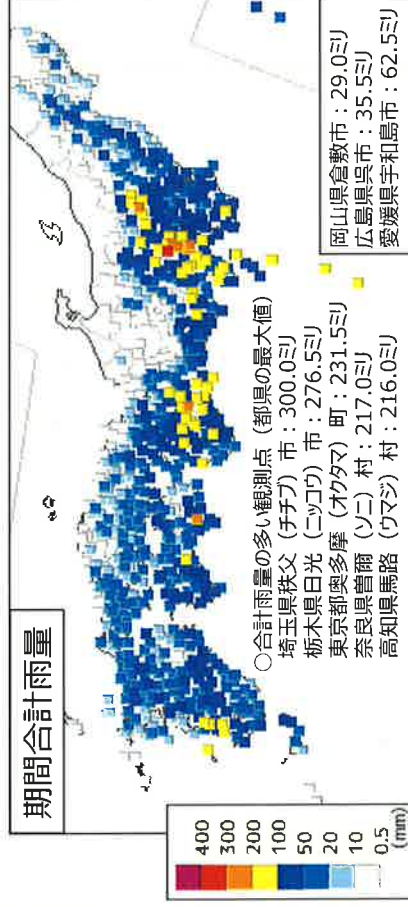
<台風第12号> 日本の南海上で発生（7月25日3時）した台風第12号は、27日に小笠原諸島近海を通り、その後、向きを北西に変え、強い勢力を保ったまま、28日に暴風や高波を伴いながら関東・東海地方の沿岸を進んだ。

29日1時頃、三重県伊勢市付近に上陸した台風は、勢力を弱め、速度を落としながら、西日本を西へ進み、30日には九州の西海上に達した。

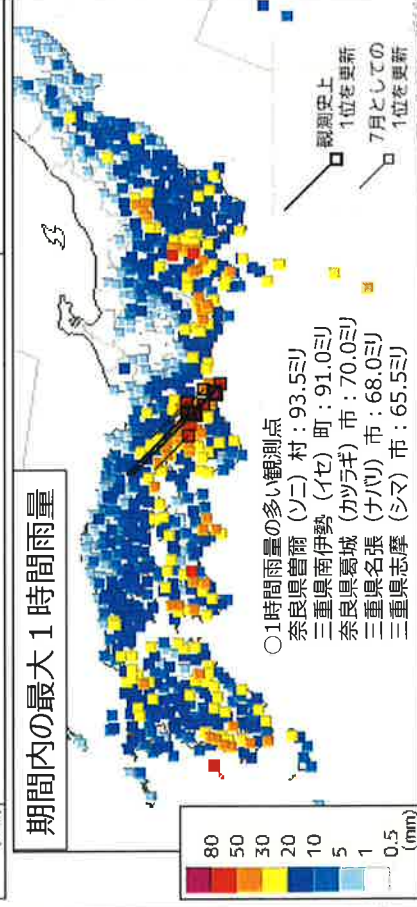
奈良県では1時間に100ミリを超える猛烈な雨が降るなど、東日本・西日本の広い範囲で大雨となった。

雨と風の状況（27日0時～30日06時）

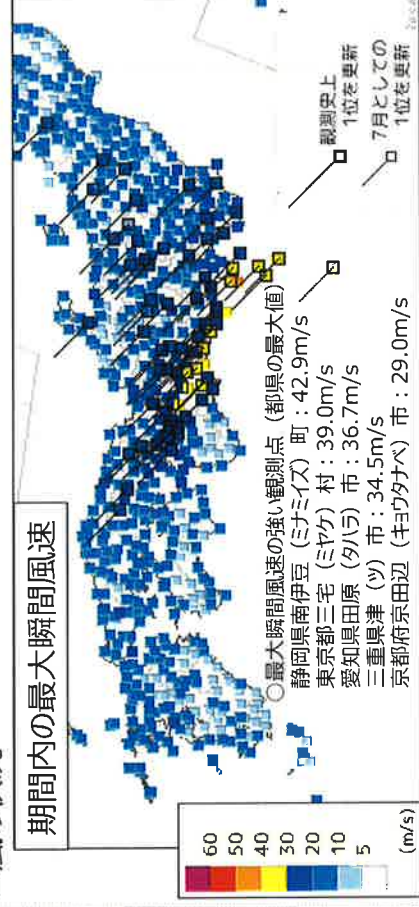
■ 雨の状況



期間内の最大1時間雨量



■ 風の状況



天気予報 (30日05時発表)

週間天気予報

■ 岡山県 (気温：岡山)

日	30日(月)	31日(火)	1日(水)	2日(木)	3日(金)	4日(土)	5日(日)
天気	曇時々雨	晴時々曇	晴時々曇	晴時々曇	晴時々曇	晴時々曇	晴時々曇
降水確率(%)	10/10/0	10/10/10/10	20	20	20	20	20
最高気温(°C)	34	34	34	35	35	35	35
最低気温(°C)	/	26	26	26	26	26	26

降水確率の1日目は、6-12/12-18/18-24時、2日目は、0-6/6-12/12-18/18-24時です。

■ 広島県 (気温：広島)

日	30日(月)	31日(火)	1日(水)	2日(木)	3日(金)	4日(土)	5日(日)
天気	曇時々雨	晴時々曇	晴時々曇	晴時々曇	晴時々曇	晴時々曇	晴時々曇
降水確率(%)	20/20/10	10/20/10/10	20	20	20	20	20
最高気温(°C)	33	34	34	34	34	34	34
最低気温(°C)	/	28	27	27	27	27	27

降水確率の1日目は、6-12/12-18/18-24時、2日目は、0-6/6-12/12-18/18-24時です。

■ 愛媛県 (気温：松山)

日	30日(月)	31日(火)	1日(水)	2日(木)	3日(金)	4日(土)	5日(日)
天気	曇後時々雨	曇一時雨	曇時々雨	晴時々曇	晴時々曇	晴時々曇	晴時々曇
降水確率(%)	40/50/50	50/40/30/20	30	20	20	20	20
最高気温(°C)	33	34	34	34	34	34	34
最低気温(°C)	/	27	26	26	26	26	26

降水確率の1日目は、6-12/12-18/18-24時、2日目は、0-6/6-12/12-18/18-24時です。

時系列予報

■ 岡山県 (倉敷地域付近)

日 / 気温	30日 / 日中の最高33°C				31日	
	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時
天気	晴	晴	晴	晴	晴	晴
3時間雨量(ミリ)	0	0	0	0	0	0
気温(°C)	25	27	30	32	29	26
風向	←	←	←	←	←	←
風速(m/s)	8	8	5	5	3	2
波の高さ(m)	1	1	1	0.5	0.5	0.5

風向・0m/s \nearrow 1-4m/s \nearrow 5-9m/s \nearrow 10m/s以上 注意報基準(1.5m)以上の波は太字で表示します。

気温は各時間帯の初めの時間の予想値です。例えば18-21なら18時の予想値です。

■ 広島県 (広島・呉付近)

日 / 気温	30日 / 日中の最高32°C				31日	
	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時
天気	晴	晴	晴	晴	晴	晴
3時間雨量(ミリ)	0	0	0	0	0	0
気温(°C)	26	29	29	30	28	27
風向	↘	←	←	←	←	←
風速(m/s)	7	7	6	7	8	7

風向・0m/s \nearrow 1-4m/s \nearrow 5-9m/s \nearrow 10m/s以上

気温は各時間帯の初めの時間の予想値です。例えば18-21なら18時の予想値です。

■ 愛媛県 (南予南部付近)

日 / 気温	30日 / 日中の最高30°C				31日	
	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時
天気	晴	晴	晴	晴	晴	晴
3時間雨量(ミリ)	1~4	0	1~4	0	1~4	1~4
気温(°C)	24	27	29	28	27	26
風向	←	←	↘	↘	↘	←
風速(m/s)	5	6	7	7	5	4
波の高さ(m)	2.5	2.5	2.5	2.5	3	3

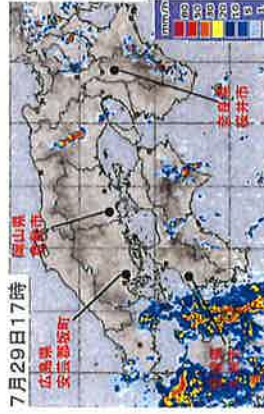
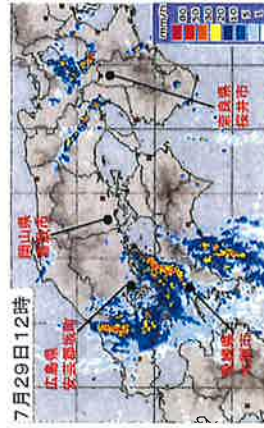
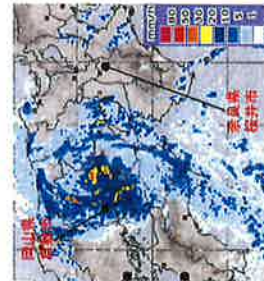
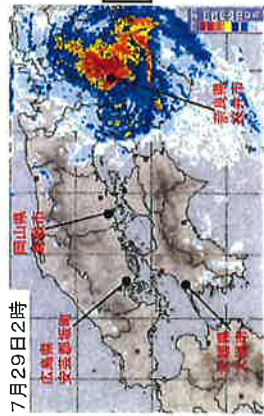
風向・0m/s \nearrow 1-4m/s \nearrow 5-9m/s \nearrow 10m/s以上 注意報基準(2m)以上の波は太字で表示します。

気温は各時間帯の初めの時間の予想値です。例えば18-21なら18時の予想値です。

平成30年7月豪雨により被災した河川等の状況(1/2)

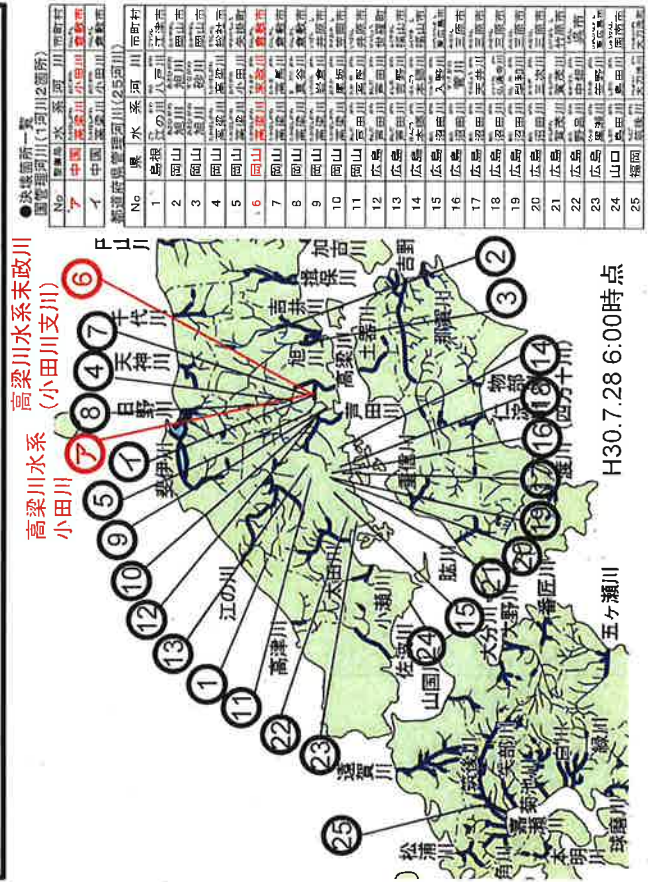
7月30日8時時点

- 台風12号の影響により、7月29日未明に奈良県を中心に、100mm/hを超える降雨があり、三重県、奈良県、大阪府管理の5河川で一時的に氾濫危険水位を超過し、奈良県内で河川沿いの道路の洗掘等が発生(河川の氾濫はなし)。
- 先の豪雨により、堤防の決壊や河道の埋塞等が生じた広島県や岡山県等の28日からの降水量は、40mm程度であり河川の氾濫は生じていないが、九州地方を含め、引き続き警戒。



平成30年7月豪雨により堤防の決壊が生じていた河川

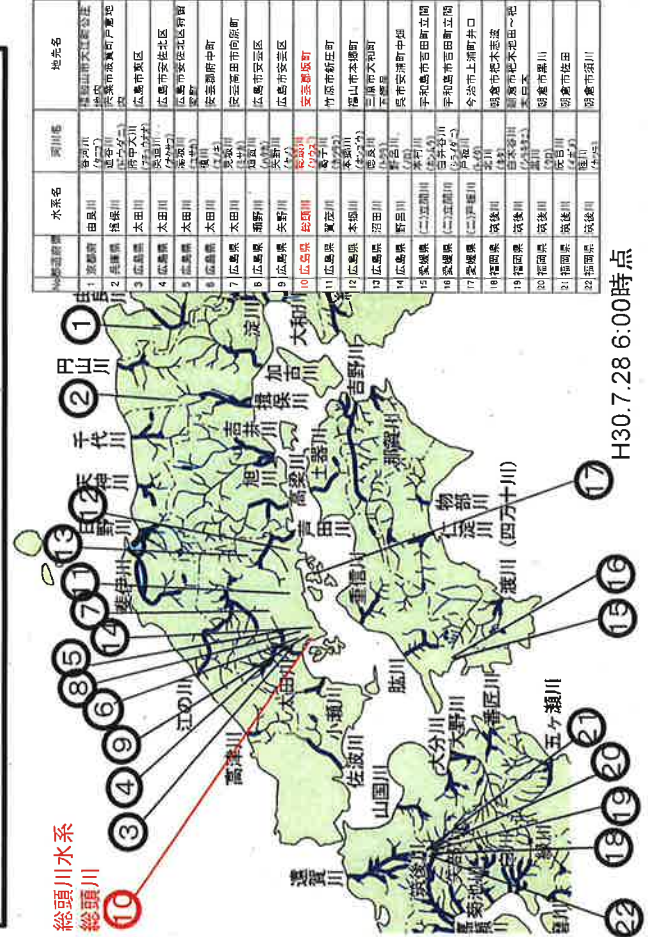
高梁川水系 未成川
高梁川水系 小田川(小田川支川)



H30.7.28 6:00時点

平成30年7月豪雨により河道の埋塞が生じていた河川

総頭川水系 総頭川



H30.7.28 6:00時点

平成30年7月豪雨により被災した河川等の状況(2/2)

7月30日8時時点

「堤防が決壊した37箇所(国・県)」及び「河道が大きく埋塞した22河川(県)」について、

○監視・連絡体制を確保

○台風12号による増水等に対して異常はない

堤防復旧(小田川(国))



■台風12号による大きな水位変化はなく異常なし

■応急復旧した堤防について異常なし

堤防復旧(末政川(岡山県))



■台風12号による増水に対し、異常なく流下

■応急復旧した堤防について異常なし

河道埋塞(総頭川(広島県))



■台風12号による増水に対し、異常なく流下

■新たな河道埋塞は確認されていない

11 土地・建設産業局

H30.7.30(月) 10:00 現在
前回からの変更点は下線部

「平成30年7月豪雨」への土地・建設産業局の対応

建設業者による災害対応への協力

- 7月6日(金) 日本建設業連合会、全国建設業協会及び全国中小建設業協会に対し、国・地方公共団体等からの要請に応じて迅速かつ適切な対応がとれる体制を整えるよう口頭要請
- 7月9日(月) 建設業関係団体に対し、建設機械、資機材の調達や労働力の確保など、地方公共団体等と緊密な連携を図りながら可能な限り被災地域の応急対策に取り組むよう、総合政策局と連名で要請
- 7月10日(火) 牧野副大臣から、日本建設業連合会、全国建設業協会、全国中小建設業協会及び日本建設業経営協会に対し、地方公共団体等と緊密な連携を図りながら、可能な限り被災地域の応急対策に取り組むよう口頭要請
- 7月11日(水) 建設資機材の需給の安定のため、建設業関係団体に対し、実需に基づく発注や過剰な在庫の保有抑制を図り、買占め等の行為が生じないように、総合政策局と連名で配慮を要請
- 7月13日(金) 日本建設業連合会に対し、地方公共団体の要請に応じて生活用水の配送支援用車両(散水車)のあっせんを実施するよう口頭要請
- 7月13日(金) 全国解体工事業団体連合会等に対し、地方公共団体へ解体工事業者の紹介を行う相談窓口を設置するよう口頭要請

復旧工事を担う建設業者に対する支援

- 7月9日(月) 公共工事の前払金保証を行う保証会社(北海道建設業信用保証株式会社、東日本建設業保証株式会社及び西日本建設業保証株式会社)に対し、前払金の払出手続きに必要な書類が滅失した場合に代替書類を認めるなど、前払金保証事務処理の迅速化・弾力化を要請
- 7月10日(火) 地方公共団体に対し、応急復旧事業等については随意契約が可能である点など、入札・契約の取扱いについて総務省と連名で周知
- 7月12日(木) 地方公共団体に対し、以下の点について要請
- ・公共工事標準請負契約約款に基づき、災害応急対策を優先して行う場合等には施工中工事の一時中止を適切に指示すること

11 土地・建設産業局

H30.7.30（月）10:00 現在

前回からの変更点は下線部

・ 応急復旧工事等に係る前金払の適切な実施を行うこと

7月13日（金） 被災地域では、調達環境の変化等により通常の積算基準の適用が適切ではない場合も考えられるため、地方公共団体に対し、積極的に見積を活用して積算するなど適切な予定価格の設定に努めるよう、総務省と連名で要請

被災地域の建設企業への支援

7月13日（金） 元請建設企業が倒産した場合等における下請建設企業等が有する債権の支払保証（下請債権保全支援事業）について、手続に必要な書類が滅失した場合等における実情に応じた措置を周知

7月19日（木） 建設業関係団体等に対し、豪雨の発生を理由として親事業者が下請事業者に一方向的に負担を押しつけることがないように十分に留意すること等について、経済産業省と連名で要請

住家被害認定調査への支援

7月10日（火） 日本不動産鑑定士協会連合会に対し、被災者への罹災証明書発行のために市町村長が行う住家被害認定調査へ可能な限り協力するよう要請

被災者の住まい確保

7月 8日（日） 全国宅地建物取引業連合会、全日本不動産協会、日本賃貸住宅管理協会及び全国賃貸住宅経営者協会連合会に対し、被災者が入居可能な賃貸住宅に関する情報提供や斡旋等について、住宅局と連名で協力要請

建設資材の需給動向等の把握

7月23日（月） 関係省庁、資材団体、建設業団体等による「平成30年度建設資材需要連絡会合同会議」を開催し、建設資材の需給動向等の情報交換を実施（広島県、岡山県、愛媛県の一部の資材工場で被災による出荷停止はあるものの、近隣地域から供給可能なため、現段階で資材の供給に大きな支障は見られない）。今後は地方ブロック毎に情報交換を行うなど、需給のひっ迫等状況変化があった場合に情報を入手できる体制を構築し、状況を注視。

11 土地・建設産業局

H30.7.30（月）10:00 現在

前回からの変更点は下線部

※「平成三十年七月豪雨による災害についての特定非常災害及びこれに対し適用すべき措置の指定に関する政令」（平成30年政令第211号）に基づく国土交通省告示第947号により満了日が延長された権利利益のうち、土地・建設産業局関係のものは以下のとおり（いずれも本年11月30日まで延長）。

- ・建設業の許可、測量業者の登録、宅地建物取引業者の免許、不動産鑑定業者の登録、浄化槽工事業の登録、解体工事業の登録、マンション管理業者の登録、建設コンサルタントの登録、地質調査業者の登録、補償コンサルタントの登録、不動産投資顧問業の登録、賃貸住宅管理業者の登録 など

平成30年7月豪雨に係る建設業協会等の対応について

7月6日(金)に土地・建設産業局長より以下の3団体に対して、災害対応体制に万全を期すよう要請を行ったところであり、現在、下記事業者団体から報告のあったものは概ね以下のとおりであり、引き続き、情報収集を継続している。

○(一社)日本建設業連合会

6日(金)に以下3支部が災害対策本部を設置し、7日(土)には本部に災害連絡室を設置。各支部の主な対応状況は以下のとおり。

九州支部 : NEXCO西日本、福岡北九州高速道路公社からの路面陥没、法面崩壊に対する支援要請にそれぞれ対応中。福岡北九州高速道路公社からの要請については、10日に2箇所の応急復旧が完了し、他所で現地確認を実施していたが今後は本復旧工事のため別途対応することが公社から通知あり。

関西支部 : 京都市から土嚢袋(3万)の支援要請に対応。

中国支部 : 中国地整、福山河川国道事務所、NEXCO西日本、広島県、岡山県、広島市、三原市、三次市、呉市などから重機、ダンプの調達、土砂撤去、送水トンネル復旧、土嚢袋(要請約91万、内78.2万を配送済)、スコップ(広島市に2.3千丁配送済)、飲料水提供などの支援要請に対応中。

国交省からの要請により、生活用水の配送支援車両(散水車)を29台確保したうえで、派遣について対応窓口を設置し、15日に高知県大月町、愛媛県大洲市、岡山県倉敷市、呉市、江田島市からの要請及び問い合わせに対応中。

29日(日)に上陸が予想されている台風12号による二次災害に備え、災害対策本部メンバーは支部事務所に待機する旨、中国地整に連絡した。

関東支部 : 15日に関東地整から土嚢袋5万袋の調達要請を受け、18日、倉敷市に配送済。

四国支部 : 四国地整から、7/28~29にかけて本州に上陸が予想されている台風12号により、風水害が発生した場合は支援要請を行う可能性がある旨連絡あり。支部対策本部の委員に四国地整からの連絡内容を周知した。

○(一社)全国建設業協会

6日(金)以降、関係府県協会が各自災害対策本部を設置し、全国建設業協会も8日(日)に災害対策協力本部を設置。各府県協会の主な対応状況は以下のとおり。

広島 : 地方整備局からの要請を受け、道路啓開等を実施。(11社)

11日、社会福祉事務所からの依頼により、土嚢袋3万袋の提供を実施。

12日、竹原市、坂町、広島市からの要請を受け、土嚢袋を竹原市5千袋、坂町5千袋、広島市1万袋の提供を実施。

岡山 : 県からの要請を受け、応急復旧を実施。(124社)

愛媛 : 県からの要請を受け、応急復旧を実施。(241社)

14日よりボランティア支援活動として、土砂撤去・運搬、ごみの回収・運搬を実施。

- 兵庫：県からの要請を受け、河川や道路の土砂等支障物の撤去を実施。
- 京都：地方整備局からの要請を受け、応急復旧、道路啓開を実施。(61社)
- 鳥取：県、地方整備局からの要請を受け、道路啓開及びポンプによる排水作業を実施。県からの要請により、土嚢袋(9万)を提供し、倉敷市への運搬を実施。
- 高知：県、市町村からの要請を受け、土嚢積み、土砂応急復旧、パトロール等を実施。
- 島根：県からの要請を受け、道路及び河川パトロールを実施。
- 岐阜：地方整備局からの要請を受け、排水ポンプと照明車の出動、ドローンによる河川の状況撮影、路面応急復旧等を実施。(164社)
13日、県及び美濃市からの要請を受け、道路啓開、道路清掃等を実施。
16日、中部地方整備局からの要請を受け、岡山県倉敷市真備町へ土嚢袋1万袋の搬送を実施。
- 香川：県からの要請を受け、土砂撤去、土嚢積み等を実施。(69社)
- 山口：県からの要請を受け、土砂・倒木除去、道路啓開、道路・河川パトロール、バリケード設置、路面清掃等を実施。
- 長崎：県及び大村市からの要請を受け、パトロール、倒木除去、土砂崩壊復旧、警備、清掃等を実施。
- 新潟：北陸地方整備局からの協定に基づく要請を受け、会員企業5社がポンプ車4台、照明車2台を岡山県倉敷市真備町に出動し、排水作業の支援を実施。
- 栃木：中国地方整備局からの依頼を受け、大型土嚢袋詰機(クイックホッパー)を岡山県の被災地3箇所に搬入し、技術指導を実施
- 静岡：中部地方整備局からの依頼を受け、岡山県倉敷市真備町に土嚢袋1万袋の搬送及びポンプ車操作のオペレーター派遣を実施。

※ ()内は全建で把握した各協会支部所属の対応企業数であり、この他に対応中の企業もある。

○(一社)全国中小建設業協会

17日(火)、本部に災害対策本部を設置。

広島：県、町の要請を受け、応急復旧を実施。(約240社)

高知：県、市町村からの要請を受け、土嚢の準備・積み、土砂災害場所の復旧作業を実施。(約80社)

○(公社)全国解体工事業団体連合会

13日(金)に被災地である広島県、岡山県、愛媛県の地方公共団体が解体工事を実施する際に、解体工事業者を紹介する窓口を設置。

【広島、愛媛窓口：協同組合徳島県解体工事業協会】

広島：県からの問い合わせを受け、県内の解体工事業者に協力を要請し、県と打ち合わせを実施。

愛媛：整備局からの問い合わせに対応。県からの問い合わせを受け、県内の解体工事業者に協力を要請。

【岡山：岡山県構造物解体工事業協会】

岡山：倉敷市からの問い合わせに対応。岡山県建造物解体工事業協会の理事長等が同市を訪問し、今後の解体工事の進め方について、打ち合わせを実施。

平成30年7月豪雨に係る 建設業関係団体等の現地からの情報提供について

○（一社）日本建設業連合会

【中国支部】

- 散水車については、現在土砂撤去作業が終わり次第、粉塵の飛散防止のために今週末あたりから需要があるかもしれない。(7/23 現在)
- 中国地整より、広島市の散水車要請はキャンセルの連絡あり。自治体から費用負担で躊躇している旨の話があった。(7/23 現在)
- 現在確保している散水車について、明日から半数程度を解除する方向。ただし、要請があれば再度対応する(7/27 現在)

【関東支部】

- 関東地整から土嚢袋は現時点で追加調達要請なしとの連絡があった。(7/26 現在)

○（一社）全国建設業協会

【広島】

- 物資及び機械等の不足は現時点ではない。(7/23 現在)

【岡山】

- 廃棄物の搬出に注力しているが、収集運搬に係る重機や運搬車が不足している等の声は現時点ではなし。(7/19 現在)

【愛媛】

- 協会としてのボランティア支援活動（土砂撤去・運搬、ごみの回収・運搬）を17日で終了。(7/23 現在)

【岐阜】

- 県から民間住宅の応急修理のための建築業者リストの提出依頼があった。(7/17 現在)
- 資機材の不足はない。(7/19 現在)

【福岡】

- 飯塚市が災害救助法の適用となり、民間住宅の応急修理のための建築業者リストの提出依頼があった。(7/19 現在)

○（一社）全国中小建設業協会

【広島】

- 重機等を緊急に出動要請する可能性があった場合、各支部の管轄地域内に限定することなく、県内の広域にわたっての出動に弾力的に協力をして欲しいとの依頼があったが、現時点で具体的な要請はない。(7/23 現在)

○（公社）全国解体工事業団体連合会

【岡山】

- 倉敷市からの要請により、岡山県建造物解体工事業協会の理事長等が同市を訪問し、今後の解体工事の進め方について、ロードマップ作成のための下打ち合わせを実施した。現在同市により被害建物数の把握が完了していないことから、具体的な解体工事の着手時期などの見通しは立っていない。(7/23 現在)
- 倉敷市から被災家屋のうち、解体対象となる棟数は確定していないが、今後岡山県建設業協会と岡山県建造物解体工事業協会に応援を依頼するとの意向が示されている。(7/26 現在)

【広島】

- 本格的な解体工事は、土砂やがれき、災害廃棄物を撤去した後となるため、解体工事の着手時期はもう少し先となる見込み。(7/26 現在)

○ 建設資材需要連絡会

- 関係省庁、資材団体、建設業団体等による「平成30年度建設資材需要連絡会合同会議」を開催し、建設資材の需給動向等の情報交換を実施したところ、広島県、岡山県、愛媛県の一部の資材工場で被災による出荷停止はあるものの、近隣地域から供給可能なため、現段階で資材の供給に大きな支障は見られなかった。(7/23 現在)

台風12号による土砂災害への警戒・監視の状況

13 砂防部
7月29日 17時現在

○土砂災害発生状況

- 人的被害に関する報告無し
- 報告1件
がけ崩れ 1件 千葉県旭市
- 報道情報 なし

○避難勧告等

土石流による土砂災害が集中した地区を有する市町のうち大雨警報が発表された以下の市町は、通常より早い段階で避難勧告等を発令

広島県7市町(広島市,呉市,東広島市,竹原市,府中町,坂町,熊野町)

(甚大な被害のあった中国、四国地方に影響が予測された7月29日 12時～17時の発令状況)

- 避難指示：1府5県 ()内は市町数
大阪府(1),兵庫県(1),広島県(6),山口県(1),愛媛県(1),香川県(1)
- 避難勧告：5県 ()内は市町数
山梨県(1),岡山県(1),広島県(11),愛媛県(4),福岡県(1)

※避難指示から避難勧告へ移行したものは、避難指示で計上

○土砂災害警戒情報発表状況

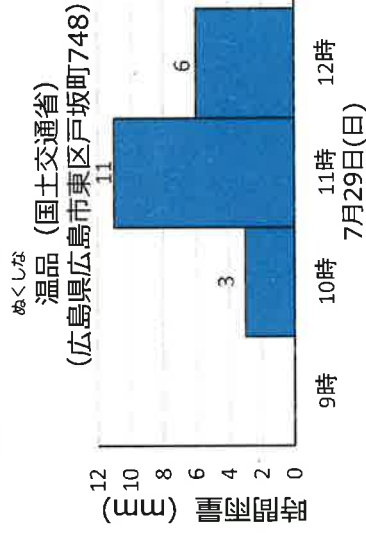
- (7月28日 19時～7/29 17時)
- 以下の6県で発表 (現在全て解除済み)
()内は市町村数
群馬県(6),埼玉県(3),山梨県(3),長野県(3),三重県(2),奈良県(14)

○甚大な土砂災害が発生した広島県の被災地における監視状況

- 広島県内で甚大な被害があった7箇所を監視中
(広島市安佐北区2,東区2,府中町1,坂町1)

特段の変化はみられない

●雨量計データ



- 少なくとも一週間前から29日9時まで降雨無し
- 13時以降降雨無し
- 累積雨量は20mm

●監視カメラ画像 (キャプチャ)

【広島市東区馬木地区】



I. 避難所の確保

- ①一次避難所
 - ・学校、公民館などの公的施設
 - 【653ヶ所4,942人】
(他に確認中の避難所あり)
(7月29日11:00現在)
※台風12号の影響により増

- ②二次避難所
- (1) 宿泊施設
 - 【1,023名受入可能
(うち145名入所済)】
(7月27日17:00現在)

- (2) 船舶
 - ・入浴サービス
 - 防衛省が護衛艦等で実施
 - 国土交通省(地方整備局、(独)海技教育機構)の船舶で実施



自宅の損傷が軽微な場合は、地域のライフラインの復旧後、帰宅

II. 応急的な住まいの確保

- ①公営住宅等の空室提供
 - 岡山県、広島県、愛媛県の計：2,170戸(うち入居決定373戸)
 - ・公営住宅等 1,771戸
 - ・UR賃貸住宅 8戸
 - ・国家公務員宿舎等 391戸
 - 災害救助法適用11府県の計：9,163戸(うち入居決定516戸)
(岡山・広島・愛媛を含む)
 - ・公営住宅等 4,803戸
 - ・UR賃貸住宅 2,688戸
 - ・国家公務員宿舎等 1,672戸
 - 全国42都道府県(上記を含む)の計：24,519戸(入居決定536戸)
 - ※うち、中部以西の27府県では20,257戸を提供

②民間賃貸住宅の空室提供

- 岡山県、広島県、愛媛県の計 : 48,034戸
- 災害救助法適用11府県(岡山・広島・愛媛を含む)の計：130,409戸
(全国賃貸住宅経営者協会連合会調べ)

※借上げ型仮設住宅(みなし仮設)の入居決定通知件数：1,724戸

③応急仮設住宅の建設

- 被災県と住宅業界団体が応急仮設住宅の建設を準備中、2県4市で計210戸の建設に着手(8月下旬完成予定)
- ・岡山県：倉敷市200戸、総社市(戸数調整中)
- ・広島県：呉市約80戸(建設着手40戸)、三原市約30戸、坂町約50戸
- ・愛媛県：大洲市60戸(建設着手60戸)、西予市98戸(建設着手98戸)、宇和島市30戸(建設着手12戸)

III. 恒久的な住まいの確保

- ・自力での再建・補修等を支援
- 被災者生活再建支援金制度

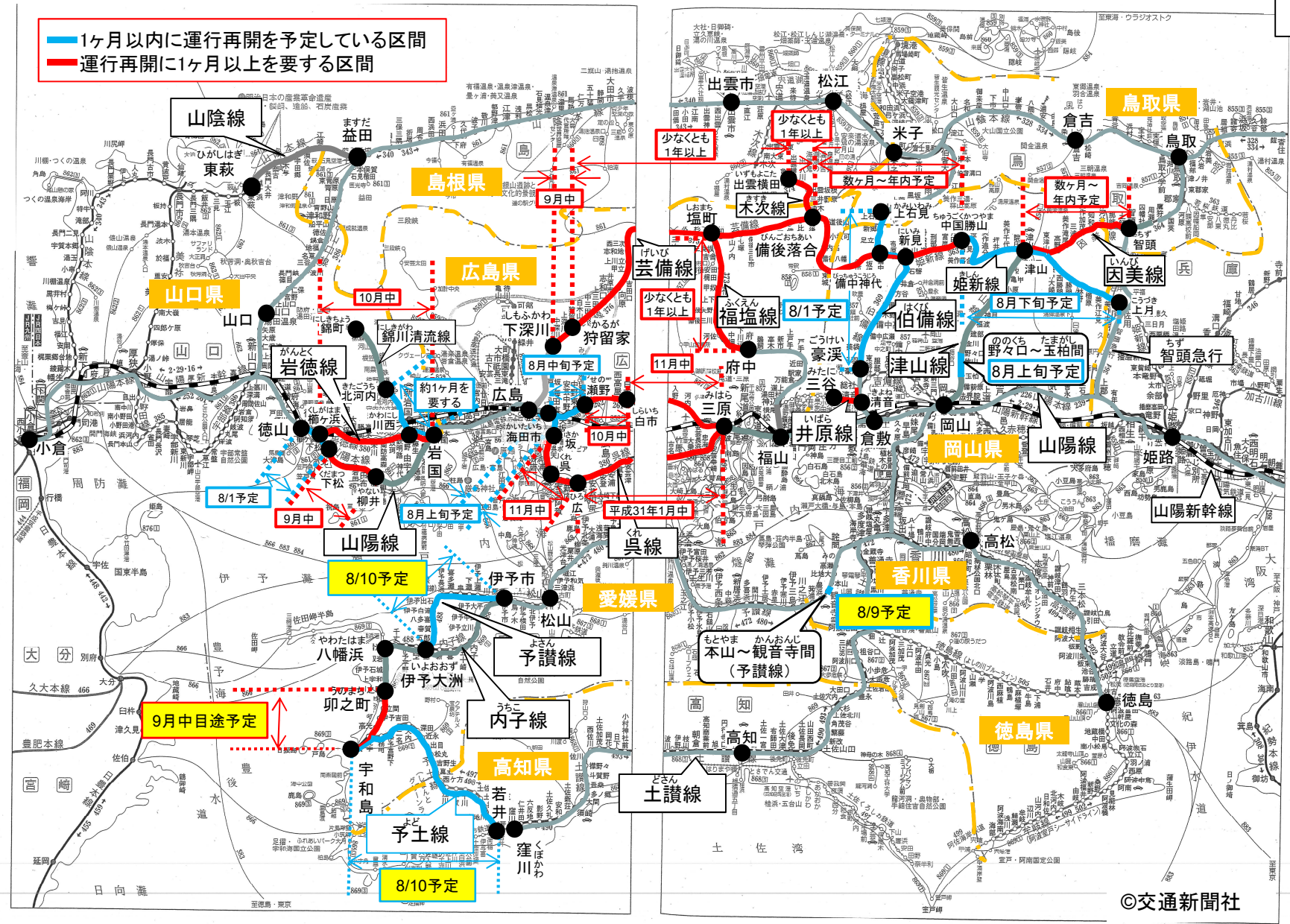
○住宅金融支援機構の災害復興住宅融資制度

・コールセンターにおいて電話相談を受付

自力での再建等が困難な被災者への公営住宅の整備

中国・四国地方における鉄道の運行状況等について

— 1ヶ月以内に運行再開を予定している区間
— 運行再開に1ヶ月以上を要する区間



台風12号による被害状況等について

1	バス・タクシー関係	・ 運休又は一部運休
2	トラック関係	・ 被害情報なし
3	自動車道関係	〃
4	バスターミナル関係	〃
5	運輸支局(自動車検査)	〃
6	自動車登録検査業務電子情報処理システム(MOTAS)関連機器	〃
7	(独)自動車技術機構(検査コース)	〃
8	(独)自動車事故対策機構	〃
9	軽自動車検査協会	〃
10	整備事業者関係	〃
11	その他	〃

国土交通省 港湾局
平成 30 年 7 月 30 日

第 9 回 国土交通省 非常災害対策本部会議

I. 台風 12 号による港湾関係(海岸保全施設を含む)の新たな被害

○ 被害状況

- ◇ 現時点で定期航路の運航に影響を及ぼす港湾施設の被災は無し
- ◇ 現時点で臨港交通施設の通行止めは無し

< 東京都 >

東京港 : ゲート門扉転倒・損傷 (人的被害なし)

< 東京都(伊豆諸島) >

岡田港海岸 : 転落防止手摺一部損傷、海浜に漂流物が漂着の情報あり (詳細確認中)

波浮港 : 高潮による浸水、物揚場の被害、港内に漂流物が流入の情報あり (詳細確認中)

波浮港海岸 : 転落防止柵流出の情報あり (詳細確認中)

利島港 : 擁壁一部倒壊、港内に漂流物が流入の情報あり (詳細確認中)

式根島港 : 棧橋破損の情報あり (詳細確認中)

神津島港 : 旅客待合所にある東屋の屋根が一部破損の情報あり (詳細確認中)

三池港 : グレーチング飛散、転落防止柵パネル脱落等の情報あり (詳細確認中)

御蔵島港 : 護岸の綱杵周り土砂流出の情報あり (詳細確認中)

< 神奈川県 >

真鶴港 : 神奈川県真鶴港管理事務所及び倉庫が半壊、津波避難タワー入口フェンス約 10m 倒壊 (避難の際の導線は確保されている)

真鶴港海岸 : 海岸護岸のフェンスが倒壊 (7/29 中に撤去中)

< 愛知県 >

三河港 : コンテナ飛散 (7/30 に荷役のある岸壁については 7/29 復旧済、その他の岸壁については 7/30 復旧予定)、ゲート門扉損傷 (応急処置にて対応中)

II. 平成 30 年 7 月豪雨（前回会議からの進捗・変更点）

1. 港湾局所有船舶による支援状況

- 中国地方整備局、近畿地方整備局、四国地方整備局、九州地方整備局所属の港湾業務艇及び海洋環境整備船により物資支援、給水支援を実施
- 中部地方整備局所属の大型浚渫兼油回収船「清龍丸」により物資支援、入浴支援、洗濯支援を実施

日付	支援先	船名	支援内容(速報値)
8日	呉市 (川尻港、安浦漁港)	おおつ (港湾業務艇)	【呉市 救援物資の輸送】 飲料水15ℓ×211個、食料50食×32箱、土嚢袋200袋×5束 等
9日	呉市 (川尻港、安浦漁港)	おおつ (港湾業務艇)	【呉市 救援物資の輸送】 食料50食×20箱
	呉市 (長浜地区)	りゅうせい (港湾業務艇)	【呉市 救援物資の輸送】 ハヤシライスとカレー20食×30箱
	呉市 (下蒲刈島、上蒲刈島、豊島)	りゅうせい (港湾業務艇)	【呉市 救援物資の輸送】 おかゆ20パック×10箱、カレー200食×11箱、わかめご飯50食×6箱 等
	竹原市 (竹原港)	りゅうせい (港湾業務艇)	【中国地整 支援物資の輸送】 飲料水2ℓ×420本、飲料水500ml×144本、非常食セット7日分×13箱 等
	尾道市 (尾道糸崎港)	おんど2000 (海洋環境整備船)	【中国地整 支援物資の輸送】 飲料水500ml×3,504本
10日	呉市 (長浜地区)	りゅうせい (港湾業務艇)	【呉市 救援物資の輸送】 飲料水2ℓ×204本、食料25箱
	呉市 (川尻港、安浦漁港)	りゅうせい (港湾業務艇)	【呉市 救援物資の輸送】 飲料水2ℓ×360本、食料46箱
	竹原市 (竹原港)	がんりゅう (海洋環境整備船)	【九州地整 支援物資の輸送】 飲料水1.5ℓ×720本、飲料水2ℓ×66本、食料2,659食、非常用給水袋900枚
	尾道市 (尾道糸崎港)	りゅうせい (港湾業務艇)	【中国地整 支援物資の輸送】 飲料水1.5ℓ×712本、飲料水2ℓ×66本
11日	呉市 (長浜地区、川尻港、安浦漁港)	りゅうせい (港湾業務艇)	【呉市 救援物資の輸送】 飲料水2ℓ×180本、食料5箱、クッキー23箱、割り箸100組、子供用おむつ78枚 等
	呉市 (広多賀谷地区)	おんど2000 (海洋環境整備船)	【中国地整 給水支援】 給水9,000ℓ
	呉市 (広多賀谷地区)	がんりゅう (海洋環境整備船)	【九州地整 給水支援】 給水4,500ℓ
	江田島市 (中田港)	おおつ (港湾業務艇)	【中国地整 支援物資の輸送】 飲料水2ℓ×600本、カップラーメン24食×5箱、タオル・ウェットティッシュ多数 等
	江田島市 (中田港)	鎮西 (港湾業務艇)	【九州地整 支援物資の輸送】 飲料水1.5ℓ×328本、食料231食、非常用給水袋300枚
	江田島市 (中田港)	たちかぜ (港湾業務艇)	【九州地整 支援物資の輸送】 飲料水1.5ℓ×328本、飲料水2ℓ×6本、食料216食、非常用給水袋300枚
	上島町 (月削島、岩城島)	くるしま (港湾業務艇)	【四国地整 支援物資の輸送】 飲料水2ℓ×1,524本
	上島町 (岩城島)	さんせと (港湾業務艇)	【四国地整 支援物資の輸送】 飲料水2ℓ×675本
12日	呉市 (阿賀マリノポリス地区)	清龍丸 (大型浚渫兼油回収船)	【大阪府市長会 救援物資の輸送】 食料25,836食、おむつ10,365枚、生理用品377,573個、マスク70,240枚 等 【中部地整 入浴支援・洗濯支援】 ヘアブラシ2,180本、タオル1,617本、バスタオル2,600本、シャンプー・ボディソープ50本 等 入浴支援 19名(男:9名、女:10名)
	呉市 (蒲刈港(下蒲刈島))	おおつ (港湾業務艇)	【中国地整 給水支援】 給水3,300ℓ
	江田島市 (中田港)	鎮西 (港湾業務艇)	【九州地整 支援物資の輸送】 ウェットティッシュ600本、ブルーシート88枚、土嚢袋8,200枚、スコップ58本 等
	竹原市 (竹原港)	はやたま→しまなみ (港湾業務艇)	【近畿地整 支援物資の輸送】 野菜カレー30袋×18箱、白飯36個×15箱、飲料水500ml×1,680本 等

日付	支援先	船名	支援内容(速報値)
13日	呉市 (阿賀マリノポリス地区)	清龍丸 (大型浚渫兼油回収船)	【中部地整 入浴支援・洗濯支援】 入浴支援 295名(男:118名、女:177名)
	呉市 (阿賀マリノポリス地区)	おんど2000 (海洋環境整備船)	【中国地整 給水支援】 給水4,200ℓ
	呉市 (阿賀マリノポリス地区)	がんりゅう (海洋環境整備船)	【九州地整 給水支援】 給水4,100ℓ
	呉市 (蒲刈港(下蒲刈島))	おおつ (港湾業務艇)	【中国地整 給水支援】 給水3,300ℓ
	呉市 (川尻港)	たちかぜ (港湾業務艇)	【九州地整 支援物資の輸送】 飲料水500ml×3,168本
	江田島市 (中田港)	鎮西 (港湾業務艇)	【九州地整 支援物資の輸送】 飲料水500ml×1,912本、飲料水2ℓ×40本、スポーツドリンク1.5ℓ×8本、2ℓ×48本 等
	尾道市 (重井港)	しまなみ (港湾業務艇)	【近畿地整 支援物資の輸送】 土嚢袋22,000枚、ブルーシート260枚
14日	呉市 (阿賀マリノポリス地区)	清龍丸 (大型浚渫兼油回収船)	【中部地整 入浴支援・洗濯支援】 入浴支援 353名(男:140名、女:213名)
	呉市 (阿賀マリノポリス地区)	おんど2000 (海洋環境整備船)	【中国地整 給水支援】 給水3,200ℓ
	呉市 (阿賀マリノポリス地区)	がんりゅう (海洋環境整備船)	【九州地整 給水支援】 給水3,800ℓ
	呉市 (蒲刈港(下蒲刈島))	りゅうせい (港湾業務艇)	【中国地整 支援物資の輸送】 飲料水500ml×24本×100箱
	江田島市 (中田港)	りゅうせい (港湾業務艇)	【中国地整 支援物資の輸送】 飲料水500ml×24本×100箱
	三原市 (瀬戸田港(佐木島))	鎮西 (港湾業務艇)	【九州地整 支援物資の輸送】 飲料水2ℓ×6本×80箱
15日	呉市 (阿賀マリノポリス地区)	清龍丸 (大型浚渫兼油回収船)	【中部地整 入浴支援・洗濯支援】 入浴支援 317名(男:127名、女:190名)
	呉市 (阿賀マリノポリス地区)	おんど2000 (海洋環境整備船)	【中国地整 給水支援】 給水4,700ℓ
	呉市 (阿賀マリノポリス地区)	がんりゅう (海洋環境整備船)	【九州地整 給水支援】 給水3,500ℓ
	呉市 (蒲刈港(下蒲刈島))	おおつ (港湾業務艇)	【中国地整 給水支援】 給水2,500ℓ
	呉市 (上蒲刈島)	なじま (港湾業務艇)	【九州地整 支援物資の輸送】 飲料水2ℓ×90本、飲料水500ml×1,992本
	呉市 (上蒲刈島)	しまなみ (港湾業務艇)	【近畿地整 支援物資の輸送】 おかゆ1,008食
	尾道市 (瀬戸田港(生口島))	しまなみ (港湾業務艇)	【近畿地整 支援物資の輸送】 飲料水2ℓ×720本
	江田島市 (中田港)	たちかぜ (港湾業務艇)	【九州地整 支援物資の輸送】 飲料水500ml×2,500本
16日	呉市 (阿賀マリノポリス地区)	清龍丸 (大型浚渫兼油回収船)	【中部地整 入浴支援】 入浴支援 179名(男:78名、女:101名)
	呉市 (蒲刈港(下蒲刈島))	おおつ (港湾業務艇)	【中国地整 給水支援】 給水1,600ℓ
	尾道市 (瀬戸田港(生口島))	しまなみ (港湾業務艇)	【近畿地整 支援物資の輸送】 飲料水2ℓ×6本×200箱
	江田島市 (中田港)	なじま (港湾業務艇)	【九州地整 支援物資の輸送】 お茶167ℓ(525ml×24本、470ml×24本等サイズ各種)、土嚢袋800枚、缶1460枚 等
17日	江田島市 (中田港)	りゅうせい (港湾業務艇)	【中国地整 支援物資の輸送】 スコップ20本、ブルーシート54枚、ウェットティッシュ568個
	江田島市 (中田港)	なじま (港湾業務艇)	【九州地整 支援物資の輸送】 飲料水2ℓ×840本 等
18日	呉市 (阿賀マリノポリス地区)	清龍丸 (大型浚渫兼油回収船)	【中部地整 入浴支援・洗濯支援】 入浴支援 18名(男:6名、女:12名)
	呉市 (宝町地区)	りゅうせい (港湾業務艇)	【中国地整 支援物資の輸送】 スポーツドリンク2ℓ×300本、フィッシュソーゼン990個
	三原市 (瀬戸田港(佐木島))	はやたま (港湾業務艇)	【近畿地整 支援物資の輸送】 飲料水2ℓ×1,200本
	三原市 (尾道系崎港)	なじま (港湾業務艇)	【九州地整 支援物資の輸送】 飲料水2ℓ×852本

日付	支援先	船名	支援内容(速報値)
19日	呉市 (阿賀マリノポリス地区)	清龍丸 (大型浚渫兼油回収船)	【中部地整 入浴支援・洗濯支援】 入浴支援 18名(男:11名、女:7名)
	江田島市 (中田港)	おおつ (港湾業務艇)	【中国地整 支援物資の輸送】 飲料水2ℓ×1,200本
20日	呉市 (宝町地区)	なじま (港湾業務艇)	【九州地整 支援物資の輸送】 塩飴750g×10袋×50箱、ゴム手袋1,000組、ゴムホース20m×5本
	江田島市 (中田港)	なじま (港湾業務艇)	【九州地整 支援物資の輸送】 飲料水2ℓ×1,374本、飲料水1.5ℓ×248本
22日	呉市 (宝町地区)	なじま (港湾業務艇)	【九州地整 支援物資の輸送】 泥よけマット50枚
24日	呉市 (宝町地区)	おおつ (港湾業務艇)	【中国地整 支援物資の輸送】 食料品クッキー69箱、クッキー75箱 等

※ 7月8日～29日の実施状況(港湾局所有船舶)

【給水】	3箇所	12回	47,700ℓ
【物資】	17箇所	49回	
【入浴】	1箇所	7日間	1,199人
【洗濯】	1箇所	7日間	

2. 関係機関と協力した支援物資の輸送

(近畿地方整備局)

- 大阪府市長会と連携し、同会からの救援物資を堺泉北港基幹的広域防災拠点に集約し、同防災拠点の備蓄物資とともに、大型浚渫兼油回収船「清龍丸」により輸送を実施(9日:名古屋港出港→10日:堺泉北港経由→11日:呉港到着)
- (一社)日本埋立浚渫協会の協力のもと、堺泉北港基幹的広域防災拠点の備蓄支援物資、大阪府市長会からの救援物資等を、被災地へ陸上及びフェリーにより輸送

輸送元		輸送先		支援内容(速報値)
9日	堺泉北港	→	10日 広島市 江田島市	【堺泉北港基幹的広域防災拠点 支援物資の輸送】 発電機付夜間照明装置3台、飲料水2,353ℓ、ウォータータンク1式、ブルーシート140枚
13日	堺泉北港	→	14日 呉市	【大阪府市長会 救援物資の輸送】 飲料水500ml×1,920本、使い捨てマスク48,000枚

(関東地方整備局)

- 海上自衛隊の輸送艦による輸送協力のもと、横須賀港から被災地へ向けて備蓄飲料水(500ml 9,600本)を輸送(13日:呉市到着→江田島市)

(四国地方整備局)

- (一社)日本埋立浚渫協会の協力のもと、愛媛県上島町(弓削島2箇所、生名島1箇所)で生活用水の供給支援
(7月12日～17日の給水量 24,800ℓ) ※ 水道復旧により17日をもって活動終了

3. 円滑な被災者支援への取り組み

- 海上保安庁の巡視船による支援物資の輸送において、利用可能バースの情報提供を行うとともに、SOLAS 制限区域への給水車の入域に関して港湾管理者へ助言を行い、円滑な給水作業を確保

- ▶ 陸上自衛隊の災害支援部隊の輸送(苫小牧港→三田尻中関港)において、利用する岸壁を港湾管理者(苫小牧港管理組合、山口県)と調整を実施
(13日 21:00 苫小牧出港、15日 9:35 三田尻中関港入港)
- ▶ (一社)日本港運協会に、支援物資や人員輸送等の岸壁利用に係る調整協力を要請
- ▶ 呉港での清龍丸(港湾局)、青雲丸(海事局)による入浴・洗濯支援において、利用する岸壁を港湾管理者(呉市)と調整を実施
(入浴・洗濯支援：清龍丸 12日 12:00～16日 20:00、17日 岩国港補給、18日 18:00～19日 20:00、青雲丸 14日 13:00～16日 19:00)
- ▶ 防衛省「はくおう」の寄港先となる尾道糸崎港 糸崎地区(三原市)で、利用する岸壁を港湾管理者(広島県)及び海上保安庁と調整を実施
(14日 17:30 尾道糸崎接岸、15日 15:00～29日 22:00 入浴支援)
(7月30日～8月4日：宇野港で入浴支援、8月5日～9日：水島港で入浴支援の予定)
- ▶ 引き続き、関係機関との迅速な情報共有及び連携を図り、円滑な被災地支援に取り組む。

4. 港湾関係(海岸保全施設を含む)の被害等の状況

① 被害状況

イ) 外郭施設、係留施設、上屋等

(兵庫県)

神戸港：波除堤一部沈下

(和歌山県)

和歌山下津港：小型船係船岸一部傾斜

(岡山県)

岡山港：導流堤一部破損(船舶運航への影響なし)

(広島県)

安芸津港：護岸一部損壊

(愛媛県)

玉津港海岸：土砂崩落により胸壁倒壊(胸壁背後の国道については片側交互通行で対応中)

田ノ浦港海岸：土砂崩落により護岸崩落(利用への影響なし)

(長崎県)

厳原港：施工中の物揚場上部破損、乗船用浮棧橋の渡版のずれ

郷ノ浦港：乗船用連絡通路の屋根材剥離

福江港：乗船用連絡通路の屋根材剥離、ターミナル前の歩道の屋根材剥離

時津港：乗船用浮棧橋の屋根材剥離

島原港：乗船用浮棧橋のずれ

早岐港：乗船用浮棧橋一部破損

峰港：護岸被覆ブロック飛散・破損

大村港：物揚場の天端コンクリートの破損、エプロンの破損(立入禁止措置済)

田結港海岸：突堤一部破損、転落防止柵破損

富江港海岸：護岸本体倒壊

(熊本県)

田浦港：乗船用浮棧橋一部破損

水俣港：上屋雨樋破損

《現時点で、施設を起因とする定期航路の運休無し》

ロ) 臨港交通施設

(広島県)

広島港：大雨により臨港道路出島海田線海田大橋通行止め（解除済）

(福岡県)

北九州港：法面崩壊により門司港レトロ観光トロッコ列車通行止め（7/21～運行再開）

(佐賀県)

伊万里港：法面崩壊により臨港道路(マリーナ付近)通行止め（復旧作業中）

唐津港：法面崩壊により臨港道路大島道路片側通行規制（解除済）

② 港内埋塞状況等

(富山県)

伏木富山港海岸：海浜に漂流物が漂着（回収中）

魚津港海岸：海浜に漂流物が漂着（回収中）

(三重県)

四日市港：港内に漂流物が流入（回収済）

四日市港海岸：海浜に漂流物が漂着（回収中）

津松阪港海岸：海浜に漂流物が漂着（回収中）

千代崎港海岸：海浜に漂流物が漂着（回収中）

白子港海岸：海浜に漂流物が漂着（回収中）

(兵庫県)

神戸港：港内に漂流物が流入（船舶運航への影響なし）

神戸港海岸：海浜に漂流物が漂着（回収中）

東播磨港：港内に漂流物が流入（回収済）

岩屋港：港内に漂流物が流入（船舶運航への影響なし）

(鳥取県)

鳥取港：港内に漂流物が流入（回収済）

航路埋没（応急工事中）

(岡山県)

水島港：港内に漂流物が流入（回収済）

岡山港：港内に漂流物が流入（解消済）

(広島県)

呉港：港内に漂流物が流入（回収中）



(鳥取港の回収状況)

(愛媛県)

今治港：港内に漂流物が流入（回収中）

御荘港：港内に漂流物が流入（回収済）

岡村港：港内に漂流物が流入（回収中）

(高知県)

高知港：港内に漂流物が流入（回収済）

須崎港海岸：海浜に漂流物が漂着（回収作業準備中）

奈半利港海岸：海浜に漂流物が漂着（回収作業準備中）

手結港海岸：海浜に漂流物が漂着（回収中）

久礼港海岸：海浜に漂流物が漂着（回収作業準備中）

佐賀港海岸：海浜に漂流物が漂着（回収作業準備中）

(福岡県)

北九州港：小型船だまりに漂流物が流入（回収済）

(佐賀県)

唐津港海岸：海浜に漂流物が漂着（回収中）

(長崎県)

池島港：港内に漂流物が流入（回収済）

城ノ下港海岸：海浜に漂流物が漂着

小長井港海岸：海浜に漂流物が漂着

神代港海岸：海浜に漂流物が漂着

多比良港海岸：海浜に漂流物が漂着

(熊本県)

長州港海岸：海浜に漂流物が漂着（回収作業準備中）

(宮崎県)

福島港：港内に漂流物が流入（回収作業準備中）

延岡港：港内に漂流物が流入（回収作業準備中）

延岡港海岸：海浜に漂流物が漂着（回収作業準備中）

《港内埋塞による船舶運航への影響》

四日市港・神戸港・東播磨港・岩屋港・岡山港・呉港・今治港・御荘港・岡村港・高知港・北九州港・

福島港・延岡港：影響なし

鳥取港：船舶運航への影響あり（応急工事中）

水島港：小型船運航への影響あり（回収済）

池島港：干満により船舶運航への影響あり（回収済、7/11～通常運航）

③ 海洋環境整備船による漂流物回収状況

(集計期間: 7月8日~7月27日)

(7月27日 20時現在)

海 域	回収量(ゴミ・葦類、流木等) [m3]	備 考
	合計	
伊勢湾、三河湾	132	
瀬戸内海(播磨灘、大阪湾)	478	
紀伊水道東部	416	
瀬戸内海(広島湾、安芸灘)	1,295	
瀬戸内海(備讃灘、備後灘、燧灘)	1,507	
紀伊水道西部	199	
瀬戸内海(伊予灘)	1,088	
瀬戸内海(周防灘)、関門海峡	132	
有明海、八代海	996	
合 計	<u>6,243</u>	

④ その他

一般社団法人 日本埋立浚渫協会関係支部に対して、災害包括協定に基づく協力(陸上支援用の資機材の運搬、海上ゴミ調査の体制確保)を要請

5. 港湾、航路の状況

現時点で被災により利用できない港湾施設(岸壁等)はなし。

現時点で漂流物により利用できない港湾施設(航路等)はなし。

・鳥取港(鳥取県・重要港湾)、呉港(広島県・重要港湾)については、回収作業中

6. 国土交通大臣による港湾施設の管理

呉港港湾管理者である呉市からの要請により、港湾法 55 条の 3 の 3 に基づく国土交通大臣による呉港の港湾施設の一部管理を実施する。

【呉港】

種類	名称	所在地	管理の内容	管理する期間
水域施設(航路)	呉港内航路(西)	広島県呉市	航路における沈没物その他の物件の除去	平成30年7月25日~平成30年9月24日
水域施設(航路)	呉港内航路(東)	広島県呉市	航路における沈没物その他の物件の除去	平成30年7月25日~平成30年9月24日
水域施設(泊地)	阿賀地区泊地(-7.5m)	広島県呉市	泊地における沈没物その他の物件の除去	平成30年7月16日~平成30年8月15日
水域施設(泊地)	広地区泊地(-4.5m)	広島県呉市	泊地における沈没物その他の物件の除去	平成30年7月16日~平成30年8月15日
水域施設(泊地)	広地区泊地(-5.5m)	広島県呉市	泊地における沈没物その他の物件の除去	平成30年7月16日~平成30年8月15日
水域施設(泊地)	宝町地区泊地(-4.5m)	広島県呉市	泊地における沈没物その他の物件の除去	平成30年7月16日~平成30年8月15日
水域施設(泊地)	川原石南地区泊地(-4.5m)(東側)	広島県呉市	泊地における沈没物その他の物件の除去	平成30年7月25日~平成30年9月24日
水域施設(泊地)	川原石南地区泊地(-5.5m)(東側)	広島県呉市	泊地における沈没物その他の物件の除去	平成30年7月25日~平成30年9月24日
係留施設(岸壁)	広ふ頭第2岸壁	広島県呉市	岸壁の利用に関する調整	平成30年7月16日~平成30年8月15日
係留施設(岸壁)	川原石南ふ頭岸壁②(西側)	広島県呉市	岸壁の利用に関する調整	平成30年7月16日~平成30年8月15日
係留施設(岸壁)	川原石南ふ頭岸壁③(西側)	広島県呉市	岸壁の利用に関する調整	平成30年7月16日~平成30年8月15日
係留施設(物揚場)	川原石第一物揚場	広島県呉市	物揚場の利用に関する調整	平成30年7月16日~平成30年8月15日
係留施設(物揚場)	川原石第二物揚場	広島県呉市	物揚場の利用に関する調整	平成30年7月16日~平成30年8月15日

流木等漂流物への対応

7/8~7/28の回収量の累積

7月28日16時00分 時点

【伊勢湾、瀬戸内海、有明・八代】7/8~7/28
の回収量の累積
6,243m³
(平常の回収量の約4倍)

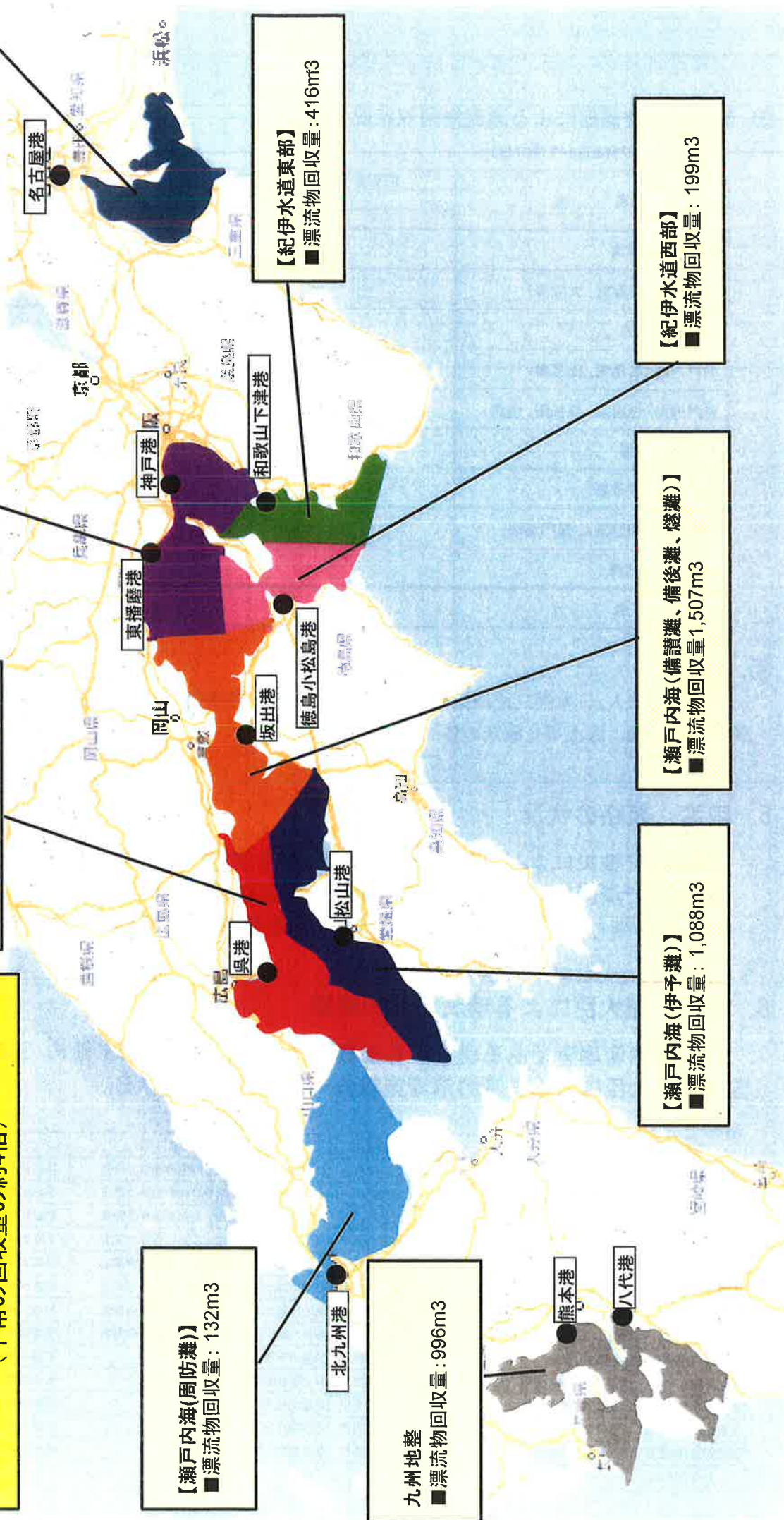
【瀬戸内海(広島湾、安芸灘)】
■漂流物回収量: 1,295m³

【瀬戸内海(播磨灘、大阪湾)】
■漂流物回収量: 478m³

中部地整
■流木等回収量: 132m³

【瀬戸内海(周防灘)】
■漂流物回収量: 132m³

九州地整
■漂流物回収量: 996m³



平成 30 年 7 月豪雨・台風 12 号に対する観光庁の対応について

平成 30 年 7 月 30 日 10:00 時点

1. 被害状況の把握

各地方運輸局及び旅館・ホテル関係 4 団体等に被害状況を確認。これまでに報告のあった被害状況は以下のとおり。

○ 被害施設

- ・北海道東川町の旅館 1 軒
- ・兵庫県神戸市のホテル 1 軒
- ・岡山県倉敷市のホテル 1 軒
- ・広島県広島市のホテル 1 軒
- ・愛媛県大洲市の旅館・ホテル 5 軒
- ・福岡県朝倉市の旅館 1 軒
- ・静岡県熱海市の旅館 1 軒（台風 12 号によるもの） 計 18 軒
- ・大阪府大阪市のホテル 2 軒
- ・京都府京都市のホテル 1 軒
- ・岡山県美作市の旅館 1 軒
- ・山口県周南市の旅館 1 軒
- ・愛媛県西予市の旅館 1 軒
- ・長崎県五島市のホテル 1 軒

上記のほか、施設への直接の被害はないが、泉源への浸水等により山口県周南市の旅館 2 軒、徳島県三好市の旅館 1 軒が一時的に休業（現在は営業再開）

※ 旅館・ホテル関係 4 団体

- （一社）日本旅館協会
- （一社）日本ホテル協会
- （一社）全日本シティホテル連盟
- 全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

○ 人的被害

- ・静岡県熱海市の旅館において、割れたガラスにより宿泊客 4 名・従業員 1 名が足などにケガ

○ 被害施設の営業状況

- ・愛媛県大洲市の旅館・ホテル 2 軒は現在も休業中
- ・愛媛県西予市の旅館 1 軒は再開の目途が立たず、廃業手続き中
- ・残りの 15 軒は、客室制限を設ける施設が一部あるものの通常営業中

2. 被災者への支援

- 旅館・ホテル関係 4 団体に対し、被災者の避難場所として宿泊施設を提供するよう依頼（7 月 8 日夜）。厚生労働省からも全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会に対し、自治体から要請があった場合の協力を依頼（7 月 9 日）。
- 被害の大きな地域については、上記 4 団体の地方支部に対しても、直接協力を依頼。
- 岡山県から旅館・ホテル関係団体に対し、倉敷市真備町の住民の避難所として受け入れ可能な旅館・ホテルの調査を実施。並行して、岡山県から被災者に対し、旅館・ホテルの利用についての募集を開始。7 月 30 日 10:00 時点の受入可能人数は 1,023 名（現在 134 名が入所中）。
- 引き続き、必要な働きかけ等を行っていく。

3. 災害ボランティアへの対応

- 7 月 9 日、「災害時のボランティアツアー実施に係る通知の適用となる地域について」に平成 30 年 7 月豪雨による被災地域を追加した旨を、関係運輸局・旅行業協会・ボランティア団体に周知。

平成30年7月豪雨に係る主な対応状況図(7月30日0800現在)

<庁内体制>

7日1020 本庁対策本部設置(第五、六、八管区対策本部設置)
 ※海上保安庁災害対策本部会議(8回実施)

<対応勢力>

・巡視船艇 5隻 【延べ537隻】
 ・航空機 1機 【延べ90機】

<リエゾン派遣状況>

広島県2名 【延べ166名】

<安全情報等> ()内は台風12号関連

・航行警報等 167件(1) (継続中19件(1))
 ・海の安全情報 99件(1) (継続中13件(1))

<漂流物対応状況>

・漂流小型船舶 46隻撤去
 ・ガスボンベ当庁回収量 153本 (28日 1本)

<救助・人員輸送>

・被災者 54名
 ・関係機関等 189名
 ・吊上げ救助 1名
 計244名

※速報値

<被災者支援>

・患者搬送 27名 (救助輸送人員の内数)
 ・医師等搬送 40名 (救助輸送人員の内数)
 ・給水支援 1028トン (給水車479回、住民2153名)
 ・物資輸送 21回

<行方不明者捜索>

・対応件数 34件 (対応継続中4件)
 ・收容ご遺体 9体 (身元判明9体)

(広島保安部)

- 瀬野川行方不明者捜索 (2名)
- 芸芸高田行方不明者捜索 (1名)

(松山保安部)

- 肱川漂流者捜索 (1名)
- 松山漂流船舶対応

● 台風12号接近に伴う対応

関係管区において、警戒配備を発令中
 巡視船艇・航空機を即応待機中
 第十管区【鹿児島、熊本、宮崎】

(水島保安部)

- 高梁川河口捜索
- ※河口から沖合いを広域捜索中